

6年 防災学習

6年生は、2学期に入ってから地域の防災について学習しています。地域の危険の場所を探したり、リュックに各自持てそうな水入りのペットボトルを数本入れ、和歌山大学付近まで歩いたりしました。避難所生活ことなど防災についてわからないこともたくさんあったので、防災士の資格をもった地域の土山さんに来ていただいていろいろ教えていただきました。



★阪神淡路大震災の避難場所（体育館）の1人当たりの面積は、写真のブルーシート1枚分です。

○前半は、地震には3つタイプがあること、マグニチュードの大きさと過去の大地震。南海トラフや中高構造線など地震に関する知識、避難所の生活についてお話していただきました。



★新聞紙とナイロン袋で簡易トイレを作りました。

○後半は、土山さんの防災リュックの中身を見せていただきました。その中身は、紙皿、サランラップ、ロープ、無洗米、水、ノートと筆記用具、家族の写真、フリースの生地で作った寝袋などありました。説明を聞いて「なるほど」と思うことがたくさんありました。また、新聞紙とナイロン袋で簡易トイレも作りました。「被災地でボランティアする時の10か条」、「わたしたちにできるボランティア」、「自助、互助、共助、公助」などの話もしていただきました。このような防災学習を通して、子供たちには生きる力をつけてほしいものです。